

矢吹中建設の見直しを！

十分な合意形成を図りながら実施



青山 英樹 議員

景況感悪化！
矢吹建設の
見直しを要望！

青山 景況感が悪化する中、地域経済も冷え込みを増してきている。住民生活も厳しさを増すことは確実であり、当然、町における税収の減少も予断を許さない状況になるものと思われる。このような中、町民の生活を第一義として、町民負担を最小限とする施策が望まれるのは当然である。特に中学校の建設にあたっては、町民負担の最たる一大プロジェクトであり、その見直しと今後の善後策について方向性を問うものである。

町長 アメリカの経済情勢の影響により世界的な情勢も悪化し、本町についても今まで以上に影響が出てくることは、認識している。しかし中学校改築については、本町にとって早期に実現すべき事業であり、ぜひ実施したいと考えている。中学校改築事業を実施す



矢吹中学校

ることを念頭に、財政再建3ヶ年計画を策定して、経常経費の大幅な削減などに取り組んできた。実質公債費比率もピークを超え、中学校改築事業により新たに起債借入れをしても、平成27年度における実質公債費比率は適正レベルである18%以下になるものと見込んでいる。

町では、中学校改築基本設計を平成18年度に策定しているが、実施設計におい

ては、使用材料等の精査を行い、事業費総額の削減を図ると共に、補助率の増や後年度の交付税措置増など、より効果的な財源確保にも努めながら、実施時期等も十分に見極めた上で実施していきたい。

中学生の進路指導は
どのように

青山 中学生の進路指導について、特に難関大学への進学者が多いとされている安積高校、安積黎明高校、白河高校理科数科、郡山高校、郡山東高校、白河高校普通科等への進学状況等、近年の動向を踏まえ、どのような指導がなされているのかお知らせいただきたい。

教育長 進路指導は2年生の1学期の時点で志望校の調査を実施し、これ以降の実力テストを受ける場合などに生徒自身の目安としている。中学3年時の11月初旬に生徒・保護者・担任

による三者面談において相談を行い、11月下旬には志望校をほぼ決定している。

近年の卒業生の進学率は平成17年度96.6%、平成18年度94.6%、平成19年度97.3%となっている。安積高校、安積黎明高校、白河高校、郡山高校、郡山東高校の5校を合わせた各年度の人数は平成17年度28名、平成18年度27名、平成19年度27名である。進学する高校の決定にあたっては、生徒自身の個性や能力に一番合った学校を選ぶことが重要であると考え。例えば地元の光南高校の場合、総合学科で自分の個性を生かしたいという希望の生徒も数多くあり、技術系の高校を志望する生徒もいる。これらのことから、全ての生徒が有名大学を目指して進学校を目指すものではないということにも、ご理解を願いたい。いわゆるテストで見られる学力については、年度により全国平均と比べて若干上回ったり、下回ったりしている状況であり、引き続き学力向上に努めていきたい。

町政を問う



角田 秀明 議員

国民健康保険特別会計の現状と、今後の見通しは？

住民負担が最小になる形で税率改定を検討！

国民健康保険特別会計の現状について

角田 6月の国保審議会の会議にて医療費1億数千

万円の赤字、今回12月の議会で2500万円の補正。今のままで、本当に国民健康保険特別会計が運営できるのか。平成20年度の医療費の状況をお知らせいただきたい。値上げをしないで21年度は運営できるのかも伺いたい。

町長 平成20年度は、不足する国保財政について基金の残高6000万円全てを取り崩し、一般会計からも5000万円を繰り入れて対応してきた。医療費の伸びが12%以上と予測され、大幅な補正が必要となる極めて厳しい財政状況にある。平成21年度については、基金もなくなり、厳しい財政状況にある一般会計からの繰り入れにも限界があるため、不足が予測される国保税については、被保険者の皆様にも負担増をお願いせざるを得ないと考えている。いかに医療費の給付を抑えていくかといったところに、力を

入れていくことを明言しながら、住民負担が最小になるような形で、税率の改正というものを検討している。

代表監査委員及び区長会役員の手当報酬について

角田 代表監査委員の一年間の手当は26万3500円、町の特別会計を合わせると100億以上の監査を年間40日以上も費やす仕事。区長会の会長さんは、年額4万1800円の手当。町民1万8700人の代表、町長・議長と同じ立場で会合・集会に出席する忙しい。現在の手当では、どうなのか。両役職の値上げは。

町長 代表監査委員の手当は年報酬として、26万3500円を支給、同人口規模の近隣町村と比較して、ほぼ同水準の金額となっている。今後については、近隣町村や類似町村の自治体を調査しながら検討してまいりたい。区長会役員の手当は、矢吹町行政区長規則により、年報酬4万1800円と定められ

ており、所属行政区加入世帯数により、一戸当たり180円が加算される仕組みとなっている。現在、協働の町づくり推進ビジョンの策定を進めており、区長報酬や役員手当のあり方について、区長会と協議しながら検討してまいりたい。

西山墓園の利用状況と増設の計画はあるのか

角田 現在、町の貸し出し状況と墓地の増設計画があるのか。町長の考えを伺いたい。

町長 西山墓園は現在、区画数が1032区画あり貸し付け区画数は同数で、新規の申し込み者に貸し付けする区画がない状況にある。墓園南側に隣接する旧河川敷地用地を含めた民間の買収計画は、町としても西山墓園の総合的な整備計画上、必要な用地でもあることから、継続的かつ粘り強く地権者との交渉を続けてまいりたい。

4号国道（新町・北浦地域）上下水道と消火栓の設置について

角田 この地域は、平成13年12月に用途地域の見直しをした地域でありながら、今だに上下水道もない。消火栓も設置されていない状況である。今後どのように進めていくのか伺いたい。

町長 当該地域は、過去に大規模店進出計画が予定されるなど、民間活力による開発に期待が寄せられた地域であったが、その後進展がなく、大半が農地のままである。今後の民間開発等の動きを見据えながら、水道整備計画と公共下水道整備計画の整合性を図り、消火栓の設置にも努めてまいりたい。



下水道整備予定箇所(4号線)